

本書は、入退室管理システム デイリPLUS(以下デイリPLUSと表わします)のコンパクトフラッシュ交換によるバージョンアップの手順を記載したものです。

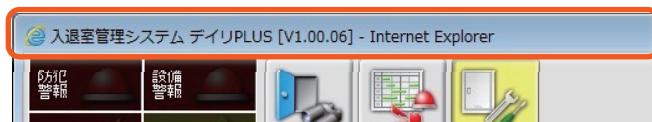
本書は、以下の条件のデイリPLUSに適用可能です。

項目	要件
ソフトバージョン	1.00.06以上
ネットワーク2 IPアドレス	192.168.0.245
ネットワーク1 IPアドレス	未使用(0.0.0.0)

事前確認

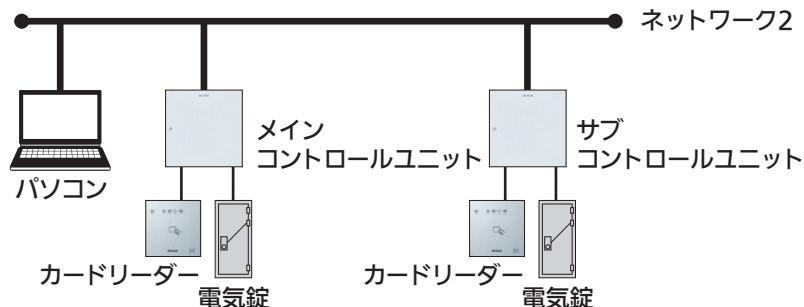
①バージョンの確認

デイリPLUSのバージョンが**1.00.06以上**であることを確認してください。
バージョンは、お使いの画面のタイトルバーに表示されています。

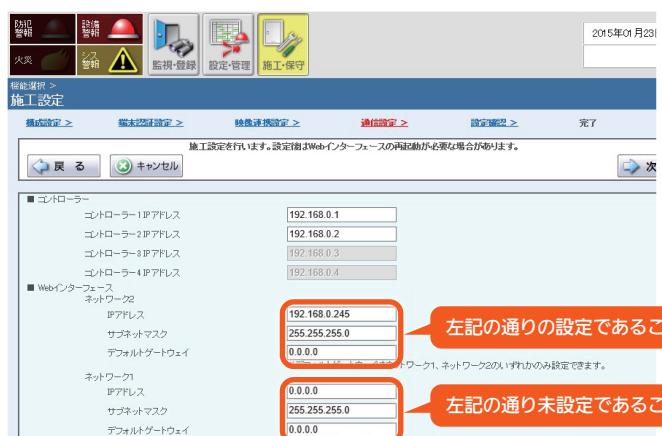


②ネットワーク(IPアドレス)の確認

デイリPLUSに設定しているIPアドレスにより、作業手順が異なりますので、以下の内容を確認してください。



施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、施工設定画面の通信設定が右記のように工場出荷時の設定であることを確認してください。



デイリPLUSのバージョンアップにあたり以下の注意事項がありますので、事前にご確認ください。

注意事項

①バージョン1.00.01ならびに1.00.02は、バージョンアップできません。

下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 エナジーシステム事業部
マーケティングセンター 商品営業企画部 システム商品部 非住宅市場企画課
TEL 06-6943-0524

②バージョンアップのためのコンパクトフラッシュは、事前にご購入ください。

品番：EKAB51020

デイリPLUSをご購入頂いた業者または施工店にご用命ください。

③過去履歴は移行できません。

過去履歴(直近の1万件以前の履歴)は移行できません。必要な場合は、事前にCSVファイルに出力・保存してください。

取扱説明書 操作画面編の「5.4 過去履歴検索・表示」を参照ください。

④作業中、カード認証・電気錠の施解錠が行えません。

メインコントロールユニットの電源をOFFしている間、メインコントロールユニットに接続されたカードリーダー、電気錠が動作しません。また、電気錠の種類によっては解錠状態になります。(通常時施錠型の電気錠の場合、解錠されます)

⑤取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。

デイリPLUSに同梱されている取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。

作業に必要なログインユーザー名、パスワードが記載されています。

バージョンアップ手順

1

システムデータ取得

システムデータを取得します。

施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、システムデータを取得します。
設定・管理メニューの「システムデータバックアップ」アイコン(図1)をクリックし、
システムデータをバックアップ(ファイル保存)してください(図2)。

作業目安:8~20分



図1 設定・管理メニュー



図2 システムデータバックアップ

2

2-1

コンパクトフラッシュの交換

「設定・管理」の「再起動・終了」よりシステム終了します。

「設定・管理」メニューの「再起動・終了」アイコン(図1)をクリックし、「終了」(図3)をクリックします。



図3 システム終了

2-2

メインコントロールユニットの扉を開け、メモリバックアップ電池・停電補償電池のコネクターを抜きます。メモリバックアップ電池は、2-6.で2分以上空けてから繋ぎます。

写真1の○印のコネクターを抜きます。

×印の電池は抜かないでください。

メインコントロールユニットだけの作業です。

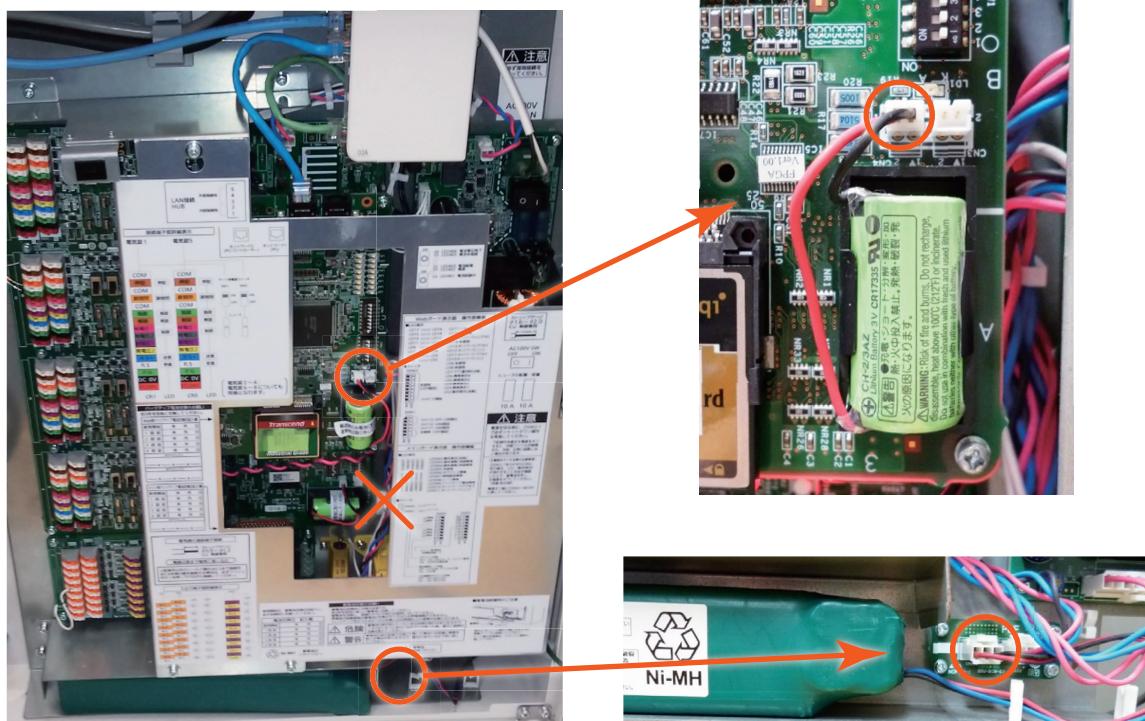


写真1 電池

2-3

パソコンとつながっているLANケーブルをHUBから外し、ネットワーク2コネクタに接続します。(元々接続されているLANケーブルは抜きます。)

3-4.で元に戻しますので、LANケーブルの接続状態の写真を撮っておくことをお勧めします。

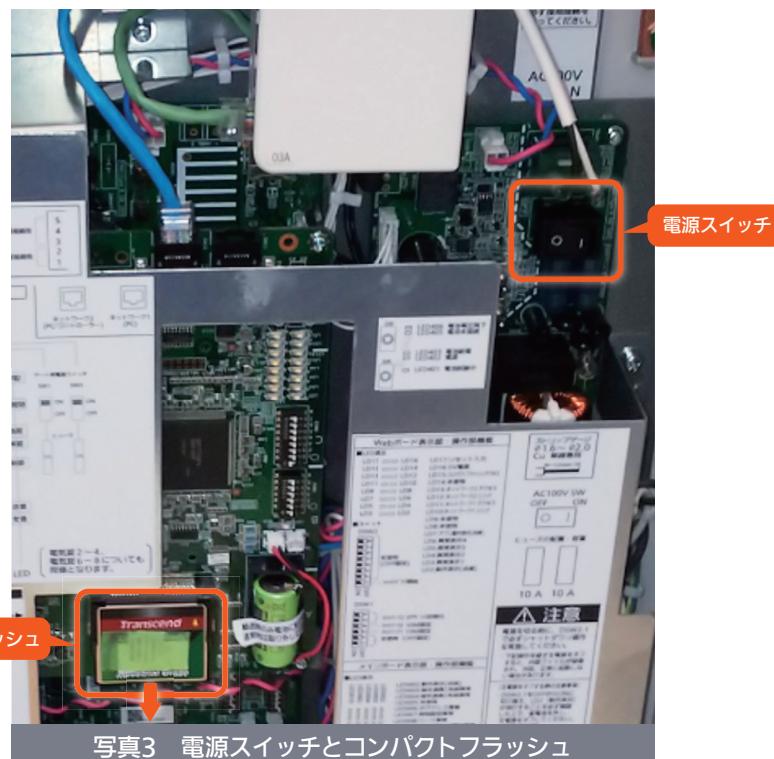


写真2 LANケーブル

2-4

メインボードの電源スイッチをOFFします。

写真3の電源スイッチをOFFします。



2-5

コンパクトフラッシュ(CF)を交換します。

写真3のコンパクトフラッシュを、両側のCFスロットガイドに沿って真下にゆっくり引き抜きます。次に新しく購入したコンパクトフラッシュを両側のCFスロットガイドに沿って真下からゆっくり挿し込みます。

この時、本体側のCFスロットガイドやガイドピンを折らない(曲げない)ように慎重にまっすぐ挿し込んでください。

2-6

2-2.で抜いた停電補償電池・メモリバックアップ電池のコネクターを挿します。

挿し込む順番はありませんが、メモリバックアップ電池は、抜いてから必ず2分以上あけてから挿してください。

2-7

メインボードの電源スイッチをONします。

写真3の電源スイッチをONします。

3

3-1

システムデータの復旧

再起動の完了(約3~5分)を待ち、パソコンより施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)します。



『このページを表示できません』画面が出てきた場合は、インターネットオプションの全般タブー閲覧の履歴一削除 で履歴削除を行ってください。(付録2参照)

3-2

「施工・保守」の「時計設定」(図4)で日時を設定します。

2015年1月1日0:00になりますので、必ず現在日時に設定してください。パソコンの時計が合っていれば、「パソコンの年月日時刻を取得して入力」をクリックし、設定すると便利です。



図5 時計設定

3-3

「施工・保守」の「システムデータリストア」(図6)でシステムデータを復元します。

画面の指示に従って、1.システムデータ取得で保存したファイル(sys_backup.tar.gz)をアップロード→リストア→再起動してください。

作業目安:5~10分



図6 システムデータリストア



図7 再起動画面

『他の処理を実行中ですが、Webインターフェースを再起動します。よろしいですか?』というメッセージが出た場合は、「OK」を押してください。

3-4

再起動が完了(約3~5分)し、ログイン可能になったら、
メインボード、他のコントロールユニットと
接続しているLANケーブルを
元通り接続します。

2-3.で繋ぎ変えたLANケーブルを元に戻します。
メインコントロールユニットの扉を閉めてください。



写真4 LANケーブル

4

4-1

動作確認

「施工・保守」メニューのコントローラー管理(図8)の画面を開き、接続状態と設定データがOKになることを確認してください。
「状態更新」ボタンで表示を更新します。

作業目安:5~20分



すべて選択		選択解除	データ時刻: 2015年01月18日 10:10		状態更新
選択	ユニット番号	名称	コントローラー種別	接続状態	操作マーク
<input type="checkbox"/>	001	コントローラー1	電気錠CTL	OK	OK
<input type="checkbox"/>	002	コントローラー2	電気錠CTL	OK	OK

図9 コントローラー管理の確認

4-2

「監視・登録」メニューの警報画面(図10)を開き、異常が発生していない(CTL通信異常、タンパ異常等が復旧している)ことを確認してください。



4-3

「監視・登録」メニューの最新履歴(図10)画面を開き、履歴が記録されていることを確認してください。

4-4

「施工・保守」メニューのメンテナンスモード画面(図11)を開き、メンテナンスモードを無効化します。



以上

付録1

施工・保守用のオペレータIDでログインできない場合、「施工・保守」メニューが表示されない場合

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」に記載されたオペレータIDとパスワードでログインする必要があります。

このオペレータでログインするにはメンテナンスモード起動中になっている必要があります。メンテナンスモードになっている場合は、画面右上の日時表示の下にメンテナンスモード起動中と表示されます。(警報発生中は表示されません)



図13 メンテナンスモード

メンテナンスモード起動中となっていない場合は、システム管理者でログインし、「設定・管理」メニューのメンテナンスモード画面よりメンテナンスモードの有効化を行ってください。

システム管理者の初期登録は、取扱説明書(導入ガイド)の「6 基本操作」に記載しています。

付録2

『このページを表示できません』画面が出てログインできない場合

※図14aのように、『このページを表示できません』画面が出てきた場合は、履歴を削除する必要があります。
インターネットオプションの全般タブ-閲覧の履歴-削除（図14b）で履歴削除を行ってください。

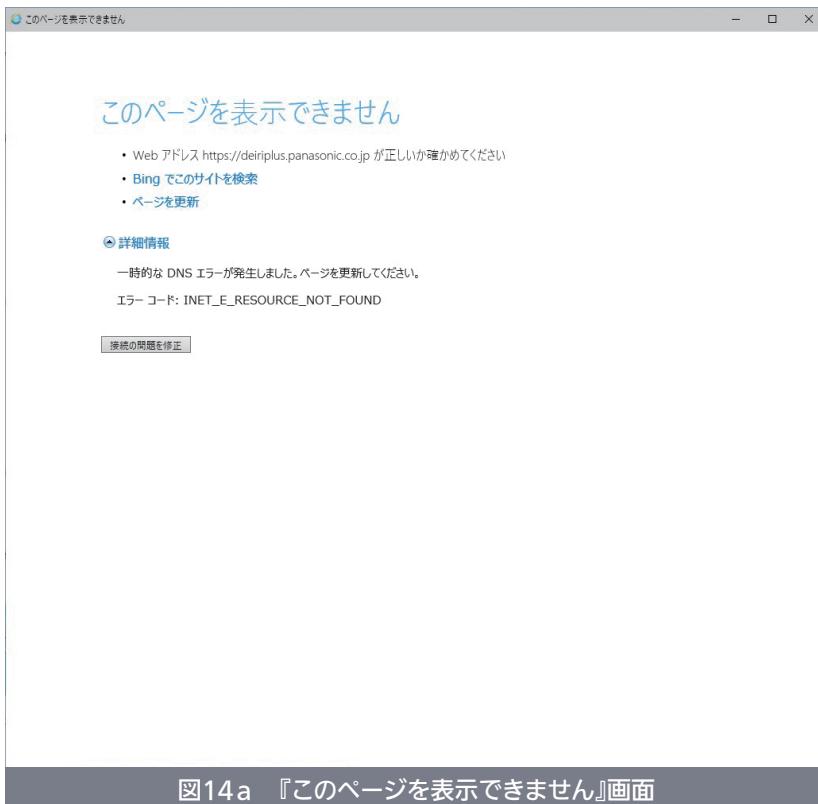


図14a 『このページを表示できません』画面

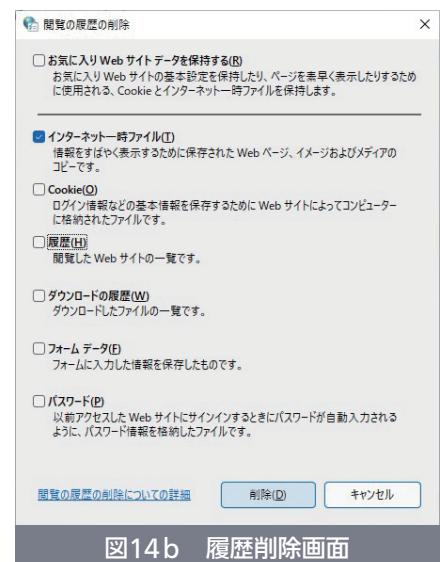


図14b 履歴削除画面